

食品ニューテクノロジー研究会 2009年9月例会
アミノ酸と健康

日 時 : 平成21年9月30日(水) 13時30分~

会 場 : 東京八重洲ホール 地下ホール

東京都中央区日本橋 3-4-13
tel03-3201-3631

<http://www.yaesuhall.co.jp>

参 加 費 : ~~¥25,000~~ **特別価格 ¥10,000**

座 長 : **山野井昭雄 先生** 味の素(株) 元副社長

食品とアミノ酸との関わりは、約100年前、池田菊苗教授のうま味の主役であるグルタミン酸の役割の発見が嚆矢と言える。その後アミノ酸類研究は、蛋白質の構成成分として食品の第一次機能を担うだけでなく、“いのち”の維持に不可欠で重要な働きが次々に明らかになり、今後も新しい発見が続くであろう。アミノ酸とは何か、背景の栄養、健康についての考え方や最新の知見を含め、斯界の権威に語って頂く。

【講演1】 13:40~14:50

ヒトの食物とアミノ酸ーヒトと人のミスマッチー

ヒトは700万年の歴史の殆んど狩猟採取生活を営んでおり、現代人が食事はもとより生活環境に対して数々の生理的ミスマッチを抱えていることは明らかである。動物タンパク質の必須アミノ酸組成は狭いレンジにあるが、植物性タンパク質のそれはまちまちで、1万年前に農業が導入された以後、人には「過食」の必要が生じた。ミスマッチの解決には、「タンパク質栄養」を、必須アミノ酸のバランスを考慮した「アミノ酸栄養」に翻訳することが喫緊の課題であろう。

味の素(株) 顧問 / **【東京大学名誉教授】 高橋迪雄 先生**

【プロフィール】 1968年東京大学農学系大学院博士課程修了(農学博士)。助手、助教授を経て1986-1999年東京大学教授(獣医生理学)。この間、日本獣医学会理事長、日本内分泌学会理事、Endocrine Journal編集委員長等を歴任。2000年東京大学名誉教授。日本農学賞、読売農学賞受賞。1999年-現在味の素(株)顧問(2002-2007年健康基盤研究所所長)。生殖生理学、生殖内分泌学、アミノ酸生理学に関する学術論文、著書以外に、一般書「ヒトはおかしな肉食動物(講談社+α文庫、2007年)等。

【講演2】 15:00~16:10

アミノ酸代謝ネットワーク研究からの健康価値の創出

生体内ではアミノ酸相互が緊密な代謝ネットワークを構築して、1)タンパク質あるいは神経伝達物質等の生理活性物質を構成すると同時に、2)糖・脂質の前駆物質としての機能を果たしている。我々はデータ解析技術の進歩に助けられ、アミノ酸代謝ネットワークの実態の解明に取り組んでいる。代謝ネットワークを前提にした病態診断法、また、単体アミノ酸配合を用いた食餌中必須アミノ酸組成の改変の意義について、個体の生理状態との関連で考察する。

味の素(株) 健康基盤研究所 **野口泰志 先生**

【プロフィール】 1998年東京工業大学バイオサイエンス専攻卒業。農学博士(東京大学)。1998年味の素株式会社入社、1998年同社発酵技術研究所、2000年同社栄養健康科学研究班、2006年米国マサチューセッツ工科大学客員研究員、2008年より現職。

【座長まとめと質疑応答】 16:10~16:30

お問い合わせ先:

日本食糧新聞社 (食品ニューテクノロジー研究会) 大川/中山/合志(ごうし)

〒105-0003 東京都港区西新橋2-21-2 第一南桜ビル7階

TEL03-3432-4664 FAX03-3459-4654 携帯090-3146-7995

次回例会のご案内: 10月27日 座長: 日高秀昌先生【加工でん粉の生理機能評価と利用技術】

「アミノ酸と健康」

9月30日 申込書

FAXで03-3459-4654までお申し込み下さい。

- ◇お申込み後、請求書をお送りいたします。
- ◇受講票は発行しておりません。
- ◇当日は名刺をお持ちください。

特別割引申込書
¥10,000-(税込)

平成21年 月 日

会 社 名	
〒	
住 所	
電 話	F A X
部 署 / お 役 職	お 名 前



会場案内

東京八重洲ホール

〒103-0027

東京都中央区日本橋 3-4-13

TEL:03-3201-3631

<http://www.yaesuhall.co.jp/map.htm>

個人情報の取扱いについて

提供いただきました個人情報は、当該業務および当社からのご案内を目的として利用します。なお、個人情報を当該業務の委託に必要な範囲で委託先に提供する場合や関係法令により認められる場合などを除き、お客様の許可なく第三者に提供することはありません。